

## 終業式式辞（全日制 工業科）

### 令和3年度 終業式 令和4年3月24日（木）

皆さんおはようございます。

久しぶりに、2学年が体育館に集合しましたね。

新型コロナウイルス感染者数も収束していない状況で、これまで通り、各教室への映像配信でよいのではないかと疑問や心配に思っている人がいるのではないのでしょうか。

はじめに、なぜ本日、皆がここに集合して終業式を行うのか、その意味について、私の考えをお話しします。

- 何よりも、皆さんは、感染防止対策をしっかりと実行できていることが、一番の理由です。校内感染の発生が、現在確認されていないこと。これは、皆さんが、感染防止の意識をしっかりと持っているという証です。
- そして、全校生徒が集まることで、学校の一体感を感じられること。皆が、一つの場所に集まって、1年の節目に式典を開催することは、気持ちを新たにすよい機会になると考えています。
- また、3学年では難しかったのですが、2学年535名であれば、生徒間の距離が基準の1m程度保てること。
- さらに、まん延防止等重点措置が、解除されたこと。

このような理由から、今回、終業式を体育館で行うこととしました。

このことをはじめに伝えておきたいと思います。

○ さて、3学期は、まとめの学期です。また、入学試験や卒業式など臨時休業が多く、あっという間に終わってしまった印象ではないでしょうか。

○ これまでも話しましたが、コロナ禍は、私たちにいろいろなことを教えてくれたと思います。もちろん、大きな困難であったことは間違いありませんが、当たり前の日常がとても貴重なもので、今という、いちにち、いちにちを精一杯生きることの大切さを、私自身も改めて感じました。

○ だから、私も残された時間で、川越工業高校をより良い高校にして行きたいと考えています。

○ みんなもどうすれば、母校、川越工業高校が、さらに良くなるかを考えてください。この話は、またの機会にお話しましょう。

○ 3学期を振り返ると2月3日（木）に五科合同課題研究発表会が、ホームルームや体育館を使って、盛大に開催されました。

○ この様子はホームページにもアップされています。皆さんこのホームページがスマホでも見やすいデザインになったことを知っていますか？ぜひ、保護者の皆さんや周りの中学生にも教えてあげてください。

○ 話を戻して、この発表会の意義は、五つの学科が合同で発表することにあります。自分の専門学科だけでなく、他の学科で学んでいる工業技術を知ること。それは、将来、自分の専門分野で仕事をしていて壁にぶつかった時、また日常生活の中でも、貴重な知識・知恵・ヒントとなって、ひらめきが生まれるきっかけとなるはずです。

来年、再来年は皆さんの番です。皆さんも自分が選んだ専門分野の技術・知識をしっかりと身に付け、3月10日(木)に卒業して行った先輩たちに負けないよう、日本を支える技術者の卵として、すばらしい発表を行ってくれることを期待しています。

○ そして、3月16日(水)には、1学年の各クラスが8つの班に分かれて、それぞれの教室で各学科の実習内容について、順番に発表をしました。

声の小さい人、大きい人、下を向いて発表している人、クラスを見渡して話す人、専門用語をその都度、解説していた班、パワーポイントのスライドに写真がたくさん使った班、文字が大きかった班、小さかった班、皆でそろって一礼してから始めた班など、いろいろでした。

みんな、今の時点での力を出しきり、一生懸命に発表していました。

○ うれしかったのは、発表の後、発表を聞いた他の学科の生徒から、たくさんの質問があったことです。私もたくさん質問させてもらいました。

その時、私の見ている限りでは、「わかりません。」という回答は一つもありませんでした。

班の中で、皆で相談して、時間がかかっても、必ず答えていました。その根性、そして度胸が、素晴らしかったです。もし、十分に説明できなかったと反省するならば、また同じ質問をされた時に答えられるように復習をしてください。それこそが、皆さんの本当の力になる勉強です。

皆さんが今後活躍する社会は、AIやロボット、IoTなどの技術を取り入れて社会の課題を解決していく世の中です。その社会では、AIやロボットが苦手とする、豊かな創造力を発揮することや、自分の考えをわかりやすく相手に伝え、他の人たちと一緒にあって、よりよい社会をつくっていくという力が必要となります。

今日お話ししたプレゼンテーションや、地域の方々と連携した様々な体験活動が、その力を養っていることを覚えておいてください。

終わりになりますが、

○ 学校にはいくつかの長い休みがありますが、春休みは新たなスタートを切る前の区切りとなる、特別なお休みの期間です。皆さんはどのように、この1年を振り返り、新たな学年に向かって、どんな思いを抱くのでしょうか。年の初めの元旦に続いて、新たな気持ちでスタートしてほしいと思っています。

春休み中も感染防止対策を十分に行い、新学期に皆さんが元気な顔を見せてくれることを楽しみにしています。  
私からは以上です。